

全日本選手権3位 ユース五輪優勝



星槎スポーツ新聞

第42号★2020年1月30日(木)

星槎グループ セイスポ編集部発行
神奈川県 中郡大磯町国府本郷 1805-2

鍵山優真



ユース五輪 旗手 鍵山優真

フィギュアスケートの全日本選手権最終日は令和元年12月22日、東京・国立代々木競技場で男子フリーが行われ、SP7位だった鍵山優真(星槎国際横浜)は4回転ジャンプ2本を決めて、国際大会の自己ベストを超えるFS180.58点、合計257.99点をマークして3位に入賞した。優勝は宇野昌磨選手。SP首位の羽生結弦選手は合計282.77点で2位に終わった。

また、1月12日に第3回冬季ユース五輪がスイスのローザンヌで行われ、フィギュアスケート男子で鍵山優真(星槎国際横浜)がFS1位の166.41点、合計239.17点となり、SP3位から逆転優勝した。

VOICE

鍵山 優真
全日本フィギュアスケート選手権大会を終えて

こんにちは。星槎国際横浜鴨居の鍵山優真です。

第88回全日本フィギュアスケート選手権大会が終わり、今回の全日本選手権はジュニア代表として選出され出場させていただきました。

SP(ショートプログラム)77.41(7位)では気持ち焦ってしまい、トリプルアクセルでミスが出てしまいました。その後、しっかりと落ちて4回転や3回転コンビネーションを決めることができたので良かったです。

FS(フリースケーティング)180.58(2位)はSPが終わってからの練習に気持ちを切り替えて練習から良い調整ができたので良かったです。

本番も落ち着いて滑ることができました。FSはほぼノーミスの演技ができた結果、総合3位という成績で、表彰台に上ることができてとても嬉しかったです。

応援してくれた人に向けて

皆様、本当にたくさんの応援ありがとうございました。SP、FSとノーミスで揃えられなかったのが悔しかったのですが、結果総合3位となれたので嬉しく思います。

次の試合はSPもFSもノーミスで揃えて満足のいく試合にできるようにまた頑張ります。

ユースオリンピック、四大陸選手権、世界ジュニア選手権と国際大会が続きます。

これからも応援よろしくお願いします。

本当にありがとうございます。

星槎国際湘南女子サッカー一部 選手権大会



1回戦 3得点目の喜び

令和2年1月3日に「第28回 全日本高等学校女子サッカー選手権大会」が開催された。昨年度の優勝校として注目を浴びながら、試合を戦うというプレッシャーがあった。インターハイ県予選決勝で自分たちが本来発揮するべきプレーができずに敗退した悔しい気持ちで、選手権関東大会の大事な場面でも試合に勝たない姿勢が取れないままに負け、今大会は勝負にこだわり試合に臨んだ。そして、大会前にはW杯で優勝経験のあるリトバルスキーさんが

1日指導をしてください、星槎の弱点を改善する練習ができた。さらに大会が行われる神戸にもお越しいただき、初戦の前日の夜に「チームワークを大切に、頭と心と体を使って戦おう、不可能はない」と貴重な体験談をもとに選手やスタッフに向けてアドバイスをいただきました。

初戦は四国代表の四国学院大学香川西高等学校と対戦。試合開始から相手はプレッシャーをかけて星槎のボールを奪い取ってきたが、星槎はパスワークでかわし攻撃を仕掛けた。徐々に相手ゴール前でチャンスを作ると相手のミスから隙を突き、キーパーの頭上を越えるシュートがそのままネットを揺らし先制点を奪った。そこから星槎ペースで試合が進み2得点を奪い前半を折り返した。

2回戦スターティングダイレブン



いた。星槎のDFやGKが体を張って防ぎ得点を許さなかった。チームのピンチをチャンスに変えるカウンターの駄目押しでゴールを奪い4-0で初戦を勝利で飾った。

2回戦目は何度も優勝している静岡県の藤枝順心高等学校。2年前のインターハイ全国大会において0-5で破れている相手、今回はそのリベンジマッチとしても勝利を収めて次に繋げる重要な試合だった。

予想していた通り星槎のパスワークを封じるために、前線からボールを奪いにきた。その相手の守備をかい潜りロングパスで対応するも落ち着かずすぐに相手にボールを奪われてしまう。奪われたボールからサイドを突破されクロスを含まれて先制点を許してしまった。そのまま直後に同じようにサイドから攻撃されクロスがそのまま星槎の

ゴールに吸い込まれ2失点目を許した。反撃に出たが相手の守備を崩すことはできず、相手の猛攻を凌ぐので精一杯だった。前半終了が近づいた頃、コーナーキックを相手に与えてしまい、それを合わせて3失点目を許した。

後半にやるべきことを確認し、逆転を狙ったが後半もチャンスはほぼなくシュートも打てず得点を奪えず試合が終了した。チームワークも、戦う気持ちも要所では見られたが相手に及ばず2回戦敗退となった。

たくさんの星槎グループの皆様をはじめ、関係各所よりご支援とご声援をいただきましたが、ベスト16という結果に終わってしまいました。

この悔しさと反省を次に繋げたいと思います。たくさんのご声援、誠にありがとうございました。

(女子サッカー部コーチ 渡邊晃平)

未来に向けて
スポーツを超え

昨年の12月1日〜10日の日程、第13回を迎えた2019南アジア競技大会(英語名: South Asian Games、通称SAG)がネパールのカトマンズボカラ・ジャンクブルの3都市にて開催された。南アジアオリンピック評議会(South Asian Olympic Council、通称SAOC)が主催、南アジア地域の友好・理解・平和と、オリンピック・ムーブメントの振

興を目的として1984年より南アジア各国をアルファベット順で巡回し主催国を決定し2年毎に開催。次回大会は、2022年にパキスタンのラホールで開催を決定。今年の第13回大会参加は、ブータン王国の他、バングラデシュ、インド、モルディブ、ネパール、パキスタン、スリランカの計7カ国が出場、参加選手数は過去最大となる

South Asian Games 開催

2715人。
SAGでは、オリンピック競技はもちろんのこと、南アジア特有のクリ



SouthAsian Games-bronze2019

ケット、カバディ、スカッシュと云ったスポーツも含め27競技の中で選手達はメダルを競いあった。ブータン王国からの選手

団も過去最大となり、代表団は117人のアスリート(31人女性アスリートを含む)と28人の役員で構成された。選手団には3年前より全日本アーチェリー連盟主催IDSJudo Cupに参加しているカルマ選手他、星槎道都大学柔道部所属のタナディ選手(73キロ級)、キンレイ選手(66キロ級)も出場。

また、SAG前にタイのバンコクで行われたアーチェリーのTokyo 2020(東京五輪)予選を兼ねた第21回アジア選手権大会が11月21日から29日にかけて開催された。アーチェリーを国技とするブータンは、ロサンゼルス1984年以来オリンピックにワイルドカード枠で出場し続けてきた。今大会の最終日に

行われた東京五輪大会出場権を掛けてカルマ選手が競技。好成績を収め出場権を勝ち取り、歴史的快挙を成し遂げた。

12月中旬、神奈川県高体連アーチェリー専門部にて令和2年3月25日(水)〜27日(金)に行われる令和元年度JOCジュニアオリンピックカップ第38回全国高等学校アーチェリー選抜大会の出場者を決める選考会議があり、星槎国際湘南アーチェリー専攻の留学生、ニダップドルジが見事神奈川県代表に選ばれた。

ブータンから日本にきた当時は、アーチェリー初心者であり、言葉もわからず、アーチェリーもわからなかったが、日々の練習そして学業に励み努力をし続けた結果、わずか1年と10ヶ月で全国大会へ出場できる選手にまで成長した。努力を重ねれば初心者からでも全

新しい年を迎えた令和2年1月10日(金)に、星槎高等学校にて今年度の星槎オリンピック伝統競技部門・料理部門が開催された。当日は冬らしくらぬ暖かな天候にも恵まれ生徒たちは楽しむことができた。

今泉あかり(星槎国際横浜鴨居)3連覇達成

伝統競技部門の個人戦(散らし取り)では2連覇を達成している星槎国際横浜鴨居の今泉あかりが3連覇を達成し負け知らずで卒業を迎えることができるかどうかが話題の一つであった。部活動・同好会活動で腕を磨いてきた生徒、各校舎の予選を勝ち抜いてきた生徒たちが白熱した予選・準決勝を展開し、決勝には6名の生徒が勝ち上がった。体育館で大勢の仲間が観戦する中、静寂に包まれた会場では一進一退の戦いが行なわれ観ている私

素晴らしい決勝であった。今泉が序盤から自分のペースを守り、追ってくるライバルたちを振り切り見事3連覇を達成。素晴らしい3連覇という結果と参加生徒の競技に対する姿勢が印象に残る個人戦であった。

BLEA女子高等部Ⅱ今年の強運王

伝統競技部門個人戦決勝の前に行なわれた、団体戦(坊主めくり)では全16チームが各チーム3人1組となり今年の強運王を決める勝負が行なわれた。多くの生徒たちがエントリし、坊主が出たり、姫が出たりするたびに笑顔が出たり悔しがったり様々な表情を見せてくれた。

その中でBLEA女子高等部は2チームが共に決勝トーナメントに進む強運ぶりを見せた。そして見事優勝し今年の強運王に輝いたのはBLEA女子高等部Ⅱの強運を持つ

た女子高生たちであった。BLEAの生徒をはじめみんなが笑顔で参加していたことがとても印象的であった。

料理部門
初優勝 星槎国際厚木

今年の食材は福岡の名産品明太子。課題料理は明太子を使用したパスタ。そして明太子を使用した自由料理で16チームが料理の腕を競いあった。関東地区以外からも広島、富山、名古屋、そして星槎名古屋中学校の中学生も参加し例年より多くのチームの参加が競技を盛り上げた。そして今回、福岡の名産品明太子を使用することで、めんたいこまニアの田口めんたいこさんや明太子漬け込み芸人の芦田晋宏さんも審査員として参加していた。

星槎国際八王子が連覇を伸ばすのか、他のチームが阻むのかに注目がつまった。審査委員長に

よれば、そのまま食べて美味しいう完成された食材の明太子は非常に調理が難しいとのこと。そんな中で各チーム互いに協力し合い創意工夫をし様々な料理を仕上げた。

各チームがしのぎを削る中、星槎国際厚木が初優勝に輝いた。とても見応え、食べ応えのある料理であった。

そして個人MVPには2年連続で星槎高校の浅野恵さんが選ばれた技術の高さを評価いただいた。

正月遊び
お餅つき・駒回し・剣玉・将棋・風作りに風揚げ・水引きストラップ作り・巨大たるま落としをスタンブラリーをしながら多くの仲間と楽しい時間を過ごすことができた。

来年も楽しい時間を多くの仲間と共に過ごせるオリンピックにしていこう。



百人一首：鴨居

2019年度 星槎オリンピック 伝統競技・料理部門



厚木学習センター

星槎国際厚木の料理



ニダップ ドルジ(左)

12月中旬、神奈川県高体連アーチェリー専門部にて令和2年3月25日(水)〜27日(金)に行われる令和元年度JOCジュニアオリンピックカップ第38回全国高等学校アーチェリー選抜大会の出場者を決める選考会議があり、星槎国際湘南アーチェリー専攻の留学生、ニダップドルジが見事神奈川県代表に選ばれた。

ブータンから日本にきた当時は、アーチェリー初心者であり、言葉もわからず、アーチェリーもわからなかったが、日々の練習そして学業に励み努力をし続けた結果、わずか1年と10ヶ月で全国大会へ出場できる選手にまで成長した。努力を重ねれば初心者からでも全

国大会に出場できることを証明した。出場が決まったことを、本人に伝えると一瞬驚いた様子。しかし、その顔に笑顔はなかった。確かに全国大会出場が決まったことはうれしいが、そこがゴールではない。全国大会出場はあくまで通過点である。また、自分の今の力では全国大会に出場しても戦える選手ではないことも自覚していた。

11月に行われた関東大会。当日は緊張してしま

い、自分のリズム・テンポで射てずに結果は惨敗。自分の現状の実力を突き付けられた。この大会をきっかけに、ニダップはアスリートとして大きく成長しようとしており、行動や振る舞いに変化が

出てきた。今は一射一射に一喜一憂することなく、ただがむしゃらに矢を射ち続ける。誰よりも多く1本でも多く射つ事が上達の一番の近道であることをニダップは知っている。世間では一射入魂といわれるが、ニダップは千射入魂だ。

全国大会出場が与えた影響は大きい。今まではコーチに言われたことだけを練習していた。しかし、今では自分に今足りないことを考え練習をすることが増えた。練習中も仲間が練習で手を抜く場面があるとお互いで見直し合い、気が緩まないよう支え合い活動することができている。つらい練習で弱音もはかなくなり、今は自分の目指す場所が

はっきりと見えている。まだまだ足りないが少しずつ成長している。オリンピック出場のチャンスもある。しかしそのチャンスをつかむか掴み損ねるかは自分次第だ。

全国大会そしてオリンピック、大きな舞台で最高のエンディングを迎えてこそ、心の底から笑うことができる。

そのために今は少しだけでも上に行くために矢を射ち続ける。

(星槎国際湘南アーチェリー専攻 コーチ 茂田佳裕)

オリシムピツク 出場を目指す 留学生！



星槎道都大 キンレイ選手(左)とタンディン選手(右)

南アジア大会の男子柔道で、共に銅メダルを獲得したキンレイとタンディンは、初めての冬の北海道を楽しんでいた。今年は、記録的に雪が少ないから、これが「北海道の冬」だと思っただけ、というよりヒマラヤ山中といっても過言ではないかもしれない(の国だが、2人に聞いてみると「ブータンは自然が豊かでネパールのほうが都会(笑)」「ブータンはチーズの料理が多いが、ネパールはカレー料理のこと」。

北海道から、大会が行われたネパールまでは、新千歳空港から羽田を経由してタイのバンコクへ向かう。そこで更に飛行機を乗り換えないとネパールまではいけない。実際、ブータンへ行くのも同様の行程だ。ブータンとネパール、どちらもヒマラヤ山麓(というよりヒマラヤ山中といっても過言ではない)の国だが、2人に聞いてみると「ブータンは自然が豊かでネパールのほうが都会(笑)」「ブータンはチーズの料理が多いが、ネパールはカレー料理のこと」。

大会に備えて、2人も日本に在るうちに、炭水化物を減らして、たんぱく質を多く摂るという方法で3、4キロの減量をしたという。対戦相手は、試合前日に発表される。キンレイの初戦の相手はインド人選手。この選手には敗戦し、次のスリランカの選手を背負い投げで投げ、勝利を収め、これが銅メダル取得につながった。初戦に負けたインド人選手は、昨年、日本武道館で行われた世界柔道にも出場している。キンレイを退けた後、この大会で優勝を果たした。

あわてて、質問をかわして、「星槎道都大学の柔道部の練習で、何が成果があったか？」と聞いたところ、また笑顔にもどり、「技が増えました」と答えてくれた。それに加えて、得意技(キンレイは肩車や内股、タンディンは内股や小内刈り)にも磨きがかかったという。

タンディンも、初戦、ネパールの選手に負けてしまったが、次のパキスタンの選手の押さえ込みを返して逆に押さえ込んで勝利し、銅メダルを獲得。タンディンに勝ったネパールの選手は銀メダルを獲得したという。

ニュース速報

星槎オリンピック 北海道冬季・パラスポーツ部門開催

令和2年1月9日(木)、星槎札幌もみじキャンパスにて冬季部門・パラスポーツ部門を開催した。冬季部門では、雪合戦や雪中つなひき、ゴムチューブリレーを実施。パラスポーツ部門では、車いすラグビーやボッチャ、キンボール、シットスキーを実施した。合計8競技を実施した。参加校舎は、本部校、もみじ中学校、札幌北、芦別・旭川、帯広、八王子、浜松が参加し、選手、スタッフ、保護者を合わせて300名のイベントとなった。

令和元年度 神奈川県高等学校体育連盟表彰式

星槎国際横浜鴨居から、全国定時制通信制バドミントン大会バドミントン女子団体(準優勝)藤原ひかりと国際大会 ISU ジュニアグランプリフランス大会 優勝鍵山優真が選ばれた。また、国際大会 第1回世界ジュニア体操競技選手権大会 優勝 岡慎之助も表彰対象になった。

星槎国際旭川キャンパス レスリング部

令和2年1月19日(土)に開催された、「第36回北海道高等学校選抜レスリング大会」女子の部74kg級に、星槎国際旭川レスリング部部長でもある3年生 木村乙羽選手が出場し、見事に優勝した。詳細は次号で。

星槎 教師 列伝 夢は叶う 星槎国際湘南 教諭 佐々木勇人



よく頑張ったな。兄から初めてもらった「優しい言葉」にそれまでたまっていた涙があふれた。そして、大きくて偉大な兄の背中を力いっぱい抱きしめ、お互いを認め合うかのようになり二人で泣きだした。

今も、苦しい時や悩んだ時には、あの日のことを思い出す。あれから10年。兄と同じ指導者として今もあの日の夢を追いつけている。

よく頑張ったな。兄から初めてもらった「優しい言葉」にそれまでたまっていた涙があふれた。そして、大きくて偉大な兄の背中を力いっぱい抱きしめ、お互いを認め合うかのようになり二人で泣きだした。

今も、苦しい時や悩んだ時には、あの日のことを思い出す。あれから10年。兄と同じ指導者として今もあの日の夢を追いつけている。

アスリートと呼吸①

オピニオン

星槎国際湘南 教諭 佐々木雄大

呼吸とパフォーマンス

人間が生まれてから最初に行う運動は泣くことを通して行われる「呼吸」である。この呼吸は様々な動作の要となる。なぜなら赤ちゃんの動きの発達段階であるうつぶせ、寝返り、四つ這いでのハイハイ、立位姿勢は、呼吸による体幹の安定によって生まれるからだ。しかし成長に伴い、呼吸による体幹の安定を筋力で代償するようになり、

呼吸と動きの関係が崩れてしまう。1日に2万回以上行われる運動の呼吸を赤ちゃんの頃の呼吸へリセットし腹圧をコントロールできるようにすれば、パフォーマンスは高まるはずだ。

世界的なアスリートのお腹は、呼吸により風船のようにお腹をふくらませることができると言われる。風船のように膨らんだお腹を腹圧が高まっている状態という。伝説のメジャーリーガー、ケン・グリフィー・ジュニア選手、ジェイミー・モイヤー選手のお腹は、呼吸をすれば、まるで生きて膨らんだ風船のように膨らんだとされる。彼ら

腹圧高めるメリット

人間をおだんごに例えるなら、頭、胸郭、骨盤と3つのおだんごが並んでいる。しかし胸郭と骨盤の間に空間があるため、2足歩行の人間は身体を安定させることが難しい。生後1歳前後の子どもはその空間に腹圧を保っているため安定して立位姿勢を取るようになる。これが人間本来の自然な立ち姿だ。しかし成長するに伴い、その空間を腹圧ではなく、呼吸筋以外の筋肉で代償するようになり、動作も四肢(手足)に頼ったものになり、ケガなど様々なリスクを生む要因となる。これを回避するために、もう一度赤ちゃんの頃のやわらかな呼吸へリセットし、腹圧を高め、身体を中心を安定させることだ。そうすれば四肢に偏った動きから、中心から四肢へと運動する自然な動きへ転換され、効率よくパワーを生み出せるようになる。例えば、10の力で7のパフォーマンスしか出なかったのが、7の力で10以上のパフォーマンスが

出せるようになる。運動における「努力度」が下がることで疲れにくくなることはもちろん、自然で合理的な身体の動かし方ができるため、怪我のリスクも低下する。さらにお腹から呼吸をすることで、副交感神経へ働きかけ、リフレッシュ効果を得ることもできる。このように腹圧を高めることはパフォーマンス向上にとって大きなメリットがあるのだ。

次号では、どうすれば腹圧を高める呼吸ができるようになるのか述べていく。

参考文獻
『勝者の呼吸法』著者：森本孝義、大貴崇 出版社：ワニブックス 発行日：2016年4月8日

2003年、兄は東京から離れた栃木県の高校に進学。寮生活を始めた

私には5歳上に兄がいる。小・中学校と同じ学校に通い、同じ野球チームのユニフォームを着た。実は物心ついた時から、兄のことが嫌いだ。理由は、幼い頃から、けんかをすれば謝るのはいつも自分。そのくせ、家のルールは長男である兄が決め、事あるごとに怒られていた。最も印象に残っているのは、門限を破った時だった。15分ほど遅れて玄関を開けると、そこには仁王立ちの兄がいた。目も合わせず、通り過ぎようとする、即座に胸ぐらをつかまれ、そのまま持ち上げられたのだ。令和の時代なら、私はきっとスマートフォンで兄を隠し撮りし、ネットに上げていると思う。



神奈川県私立高等学校男女 バレーボール選手権大会

優勝



私学大会優勝

この度、第27回 神奈川県私立高等学校男女バレーボール選手権大会において優勝することができた。一昨年は優勝し、昨年は東海大相模に敗れ悔しい思いをした大会である。今回の予選は特別な思いを持ち、試合に挑んだ。初日の予選グループは、麻布大附属・桐蔭学園・星槎のリーグ戦だった。新チームは、西湘地区冬季大会しか経験しておらず、地区大会では力が入り何もできなかった。そのイ

メーシがあり、どのような試合展開になるか不安だった。しかし、心配する必要がないほど良いスタートを切ることができた。グループリーグでは、両校相手に10点未満に抑え決勝トーナメントへと駒を進めた。

翌週行われた決勝トーナメントでは、春の高校バレーに出場する横浜隼人・インターハイに出場した三浦学院とは逆山に入った。準決勝で対戦する東海大相模に勝てば優勝も見えてくる。そのような組み合わせだった。捜真女学校・法政二高に勝利し、因縁の相手である東海大相模との準決勝が始まった。序盤から最後まで相

手に主導権を渡すことなく、ミスのないバレーボールを展開することができた。ストレートで勝利した。決勝の横浜隼人との試合には特別な思いがあった。春高予選で相原高校に敗れ、戦うことすらできなかった横浜隼人との試合。3年生の気持ちを背負った一戦となった。

春高予選の会場も東海大相模で、今大会の会場も東海大相模だった。相原高校に敗れたコートで横浜隼人との試合。引退した3年生も応援に駆け付け、絶対に負けられないかった。横浜隼人はブロックに高さがあり、スパイクをぶつける場面が多く見られた。ブロックフォロイーに入るのはいないところにボールが落ち、スタートで点差をつけられてしまった。その後立て直し、ブロックに当たらないよう工夫した攻撃を心掛け23点まで追い上げたが、一歩が届かなかった。バレーボールは1セット目が勝負だと言われている。春高予選でも1セット目が取れず敗北した。絶対に取らなかつたセットを落ととしてしまったが、2セット目はレシーブで粘り相手の攻撃を封じ込めることができた。相手スパイクに慣れ始め、自分たちで余裕を作ることができた。自分たちのバレーボールをすることができ12点でセットを取り返した。3

セット目はサーブが走り、勢いで相手を圧倒しそのままの流れでセットを取ることができた。負けられないという強い気持ちで勝ち切ることができたのだと思う。私学大会で優勝したこの経験を活かし、新入大会でも結果を残せるよう頑張りたい。

(星槎国際湘南女子バレーボール 佐々木徹)

手に入れた。自分たちのバレーボールをすることができ12点でセットを取り返した。3

セット目はサーブが走り、勢いで相手を圧倒しそのままの流れでセットを取ることができた。負けられないという強い気持ちで勝ち切ることができたのだと思う。私学大会で優勝したこの経験を活かし、新入大会でも結果を残せるよう頑張りたい。

(星槎国際湘南女子バレーボール 佐々木徹)

女子バスケットボール専攻 県新人大会



決戦前の一コマ

残り4分(岸根10-15星槎)になったところで岸根のタイムアウト。その後、岸根#4のドライブイン、星槎#7のジャンプシュートで点差を重ね、14-19の星槎リードで第1クォーター終了。

第2クォーター、岸根#4の先制点から始まった。互いにミスからの攻防が続く、#6長田琉愛のファールによって岸根#6のバスケットカウント1スローで相手に勢いを与えてしまったが、星槎は#7のドライブイン、相手のファールに対するバスケットカウントなどで得点を重ね、残り1分(岸根33-36星槎)で岸根のタイムアウト。第2クォーターは34-37の星槎リードで終了。第3クォーター、前半同様に星槎はオールコートプレス、岸根はハーフコートマンツーマンでスタート。星槎は#6長田琉愛のドライブイン、#7吉岡寧のアシスト、ドライブインなどで得点を重ねる。一方、岸根#8ジャンプシュート、#4や#6の3点シュートで得点を重ねる。星槎は#9若狭月瑠のドライブインやジャンプシュートで応戦し、56-54の星槎リードで第3クォーターが終了。

第4クォーター、岸根#10のジャンプシュートが先制点となり、#8のシュートなどで得点していくが、星槎#6長田琉愛のレイアップ、#7吉岡寧のジャンプシュートで得点を重ね、岸根はたまた残り7分(岸根58-62星槎)でタイムアウト。その後もミスからの攻防を繰り返す、岸根は残り15秒(岸根66-77星槎)でタイムアウトをとるが、追いつかず、77-66で試合終了。星槎は二回戦へ駒を進めることができた。

2回戦は、前回女王のアレセイア湘南高等学校と対戦した。第1クォーター、星槎はオールコートマンツーマン、アレセイアはオールコートゾーンプレスで対抗した。星槎の攻めに対し、アレセイアはファールが重なり、残り8分でチームファールが5つになり無条件でフリースローの権利を星槎に与える運びとなった。その後

も一進一退の攻防が続く、星槎は残り3分でタイムアウト。17-14のアレセイアリードで第1クォーター終了。第2クォーター、互いに譲らぬ展開でアレセイアは#72と#21で得点を重ねる。一方、星槎は#5榎木莉子、#7吉岡寧、#9若狭月瑠の得点で応戦。アレセイアは残り3分でタイムアウト。このクォーターは31-30のアレセイアリードで試合終了。ハーフタイムが明けた第3クォーター、アレセイアは#72の3点シュート、#21のジャンプシュートで得点を重ねる。一方、星槎は#5榎木莉子、#7吉岡寧、#9若狭月瑠のシュートで得点を重ね、残り4分でタイムアウト。このクォーターは52-44のアレセイアリードで終了した。第4クォーター、アレセイア#22の3点シュートが先制点を決めた。残り9分で星槎のタイムアウト。星槎は#5榎木莉子、#7吉岡寧のシュートで得点を重ねるが、アレセイアは#21のシュートを主に得点を重ねる。残り3分で星槎のタイムアウト。タイムアウト明け、星槎は守備の圧力を強め、相手のミスを誘い、#6長田琉愛の連続3点シュートなどで応戦するも、時間がなくなり70-64で試合が終了。星槎は二回戦敗退で県大会を終えた。

日頃より、多くのご声援とご支援をいただいています。残念な結果となりました。チーム一同、次の大会に向けて、より一層邁進していきます。

(女子バスケットボール 監督 崔純也)

furusawa
printing Ltd.

IRIS CHITOSE

JTB

JTBでは旅行のお手伝い始まり、次世代を担う「教育」もお手伝いしています。

株式会社JTB 神奈川県西支店

〒254-0034

神奈川県平塚市宝町3-1 MNビル4階

TEL:0463-23-5160 FAX:0463-23-9057